普及活動情勢報告（令和２年９月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

農業の精密化による増収を目指して　　～第2回環境測定データを活用した勉強会の開催～

お互いの栽培管理について話し合う農家の様子

8月27日、JA高知県四万十ハウスミョウガ部会の若手7名を対象とした環境測定データの活用に向けた勉強会を開催し、4名の農家が参加しました。

勉強会では、各農家のミョウガの生育、ハウス内環境データ等を見える化したシートを基に、高収量を得るための栽培について話合いを行いました。

参加した農家からは、「高収量をあげる人の温度管理が見える化されていて、参考になる。」「今作のミョウガの生育や栽培管理を一目で振り返れるのは嬉しい。」といった前向きな意見が聴かれました。

また、農家間でお互いの栽培管理について質問するなど、活発な意見交換が行われました。

普及所はこれからも、JA営農指導員と協力し、四万十町興津地区のミョウガの生産技術向上を支援してきます。

収量アップに自信　　～大正イチゴ部会反省会の開催～

次作の取組みを話し合う生産者と関係者

8月24日、ＪＡ高知県大正支所においてＪＡ主催の出荷反省会が行われ、生産者3名や市場関係者等が参加しました。ＪＡからは、出荷量が前年比123%となったことや、販売単価もアップしたことなどが報告されました。

普及所からは、ハダニの防除徹底や多発した灰色かび病の予防を呼びかけ、薬剤ローテーション案や、効果的な展着剤の使い方などを提案しました。

生産者からは、前作での収量増を受けて「省力化も図っていきたい」「ハダニの本ぽへの持ち込みを防いだことで、身体的にも精神的にも楽になった」などの意見が出されました。

今後も普及所では、若手農業者を育成し、イチゴの出荷量増に取り組んでいきます。

前作を振り返って、今後に活かそう！　　～キュウリ部会　個別面談の実施～

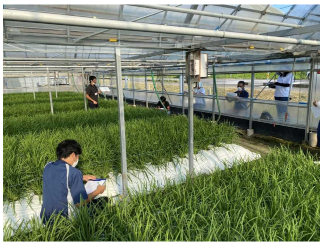
個別面談で課題を共有

8月27日からキュウリ部会員7戸に対して個別面談を実施しました。個別面談では、各々の過去3ヵ年の経営データや前作の栽培状況についての資料をもとに、生産者と今後に向けた課題を共有し、目標を設定しました。

生産者からは、「生育初期のかん水管理を改善したい」「厳寒期の日中の温度管理を意識したい」と今後の栽培管理に向けた前向き意見等がありました。

普及所では今後もＪＡと連携し、キュウリ部会員全戸の目標達成に向けて、栽培技術向上に取り組んでいきます。

猛暑の中でも高品質なニラを！　～ＪＡ高知県四万十ニラ部会夏期支部会の開催～



現地検討会の様子

8月18～28日にかけてＪＡ高知県四万十ニラ部会の夏期支部会現地検討会が4支部で開催され、のべ51名が参加しました。

普及所からは、今年度実証試験を実施している遮熱塗布資材の効果等の試験結果や農薬の適正使用等について指導を行いました。

生産者からは、「遮熱塗布資材によって直射日光が柔らかくなる。体感温度もかなり涼しい。暑さによる葉先のヤケも少ないように思う。」と効果を実感されている感想を頂きました。今後は遮熱塗布資材の費用対効果を示し、普及につなげていきます。

普及所では今後もＪＡ等関係機関と連携し、ニラの産地振興に向けて取り組んでいきます。

大豆の収量・品質向上を目指して！　～大豆の難防除雑草対策試験の実施～

新規除草剤の効果と薬害を確認

8月24日、営農支援センター四万十(株)の大豆ほ場で実施している難防除雑草対策のための除草剤試験について、協力農薬メーカーとともに効果等の確認を行いました。

汚損粒の原因となるヒロハフウリンホオズキや蔓を巻き付ける帰化アサガオ類の発生による大豆の減収や品質低下の対策として、生育期間中に散布できる新規除草剤の実証は、ホオズキへの高い効果と大豆への薬害程度を確認することができ、来年度から本格的に使用していく方向です。アサガオ類については種類と葉齢によっては効果が充分でないことが確認できたので、播種直後の除草剤や中耕と合わせた体系処理について更に検討します。

普及所は、今後も試験の結果や最新技術の情報を検討し、収量向上を目指した技術の確立を目指します。

ドローンについてドドーンと紹介！　～スマート農業研修会～

ドローンの散布実演の様子を見学する参加者

9月18日、高南地域の集落営農組織等を対象にスマート農業研修会が開催され、関係者を含め70人が参加しました。

研修会は高南地域営農協議会主催によるもので、普及所は企画・運営を担いました。

研修会では環境農業推進課より散布用ドローンの飛行ルールや農薬の使用、ドローンの種類と特徴について講習を行いました。また、スマート農業実証プロジェクトに取り組んでいる営農支援センター四万十(株)や農機メーカーによるドローンの紹介、散布実演が行われ、質疑応答の際には、集落営農組織側より積極的に質問が出るなど、ドローンに対する強い関心が感じられる活気あふれる研修会となりました。

普及所では今後も関係機関と連携し、四万十町におけるスマート農業の推進に取り組んできます。

ＳＴＯＰ！腐敗事故　ＳＴＯＰ！斑点細菌病　　～夏秋ピーマン部会 現地検討会～	
 腐敗事故防止の講習において活発な議論を交わす生産者	9月3日、JA高知県四万十夏秋ピーマン部会の現地検討会が開催され生産者19名が参加しました。 普及所は出荷時の腐敗事故防止、台風10号に係る台風対策および斑点細菌病対策についての注意喚起や次期作に向けた講習をおこないました。 腐敗事故防止の講習では、生産者間で「私は消費者に満足していただくために、こんな風に詰めるよ！」など商品の詰め方に関するところまで話が広がるなど、活発な議論が交わされ、非常に有意義な検討会となりました。 普及所では今後もＪＡ等関係機関と連携し夏秋ピーマンの産地振興に向け取り組んでいきます。